

# しらかば

## 子どもSOSを見逃さないように

富良野市立山部小学校長 桑原久美

グラウンドには白線で描かれ、毎朝鼓笛の音が学校に響き、間近になった運動会への期待が感じられます。また、登校時には校長室前で立ち止まっての元気な挨拶が増え、教室では学習リーダーを中心に自分たちで授業を進める姿が見られます。新学期が始まって二ヶ月が過ぎますが、子どもたちの成長をうれしく思いながら日々過ごしています。

一方で、4月から頑張りが続きそろそろ疲れが見えてくるのも今頃です。いろいろな悩みを抱えている子どもがいるかもしれません。

昨年度、富良野市でいじめを考える集会に参加したとき、悩みを声に出せない子どものSOSを見逃さないようにすることが大切だとの意見が出されていました。学校で行っているいじめアンケートの中で、相談する人がいないと回答する子どもが毎回数名います。いじめに限らず、どんな些細なことでも子どもが悩みや困り感を抱えているなら、気付き共に考えることが大切です。

国立成育医療研究センターから出ている資料の中に、「話を聴くときに心がけたいこと」という資料がありました。

### 話を聴くときに心がけたいこと

- ・プライバシーの保たれた、静かで安心できる場所を用意する。
- ・素直に、心配していることを伝える。「最近なんとなく元気がないように見えるよ。」
- ・誘導しないで、オープンに尋ねる。「どんな気持ちなの？」
- ・評価や解決の前に、子どもの体験を共有する。「もう少し教えて。」「それってどんな感じなの？」
- ・子どもの力と一緒に気付く。「そういうとき、どうしている?」「それってどんな風に役立っている?」

SOSのサインに気付いたら、まずは子どもの話を聴くことが一番大切です。その上で学校と共有した方が早期解決に繋がることも多々ありますので、その時はすぐに学校に連絡をください。一緒に考えさせてください。

同じ資料に、「大人が子どもの気持ちや考えをよく聞くためにしてほしいこと」という子どもの意見がありました。参考までにお読みください。

#### 話を聞いてくれるときは…

- ・最後まで静かに話を聞いて欲しい(小学3年生/女)
- ・もっと真剣に聞いて欲しい(中学3年生/男)
- ・嫌がらないではなしをきいてほしい(小学3年生/男)
- ・おはなしをきいてといったときにかならずきいてほしい(小学1年生/女)

#### 接してくれるときは…

- ・優しくしてほしい(小学2年生/女)
- ・キレる喋り方をしてほしい(小学6年生/男)
- ・難しい言葉を使わないでほしい(小学1年生/男)
- ・スマホ見ないでほしい(小学4年生/女)

#### 尊重してほしいな

- ・もっとほめてほしい(小学1年生/女)
- ・自分の意見を聞き入れてくれないから。その部分を直して欲しい。(小学6年生/男)
- ・人の物差しを勉強だけにしないでほしい。勉強や運動する事を押し付けられるのがうんざり。(中学1年生/男)

#### 時間を共有してほしいな

- ・はやくかえってきてほしい(小学1年生/女)
- ・もっと家にいて欲しい。(小学2年生/男)
- ・いっしょにいる時間がほしい(小学3年生/男)
- ・一緒に遊んで欲しい(小学1年生/女)

